

さくらの開花予想（第4回） （東北地方）

〔概要〕

本年のさくら（ソメイヨシノ）の開花は、東北地方では平年より早い地点が多い見込みです。

〔本文〕

さくらの開花は、一般的に気温が高いと早まり、気温が低いと遅くなります。今回の予想対象地域の2月からこれまでの気温は、3月中旬に平年より低くなったほかは平年より高く推移しました。また今後の気温は、3月末までは平年より高く、その後は平年並と予報されています。このため、本年のさくらの開花は、東北地方では平年より早い地点が多い見込みです。

〔参考〕

1. さくらは、夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し、休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと気温の上昇とともに生長し開花します。
さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに、昨年秋からの気温経過と気温予報をあてはめて求めています。なお、気温予報には週間予報、1か月予報及び3か月予報を用いています。
2. 開花とは花が5～6輪開いた状態のことです。さくらの開花は、一般的に標高が100m高くなるごとに約2～3日遅くなります。
また、今回発表した地域のソメイヨシノの開花から満開までの期間は約5日です。なお、満開とは、花芽の約80%以上が開花した状態のことです。
3. さくらの開花を平年値（1971年～2000年の30年間の累年平均値）と比べる場合、「平年並」とは平年値との差が2日以内、「早い（遅い）」とは平年値より3日以上早い（遅い）ことをいいます。なお、「かなり早い（遅い）」とは平年値より7日以上早い（遅い）ことをいいます。
4. 開花予想は、各气象台や測候所の定めた標本木を対象としたもので、名所の開花とは異なることがあります。また、予想開花日には平均して前後2～3日程度の誤差があります。

資料1：2007年の各地のさくらの開花予想（予想開花日一覧・等期日線図）（3月28日発表）

今後のさくらの開花予想の発表は下表のとおりです。いずれも14時に発表する予定です。

	東北地方	北海道
第5回（4月4日）	○	
第6回（4月11日）		○
第7回（4月18日）		○
第8回（4月25日）		○

資料1 2007年の各地のさくらの開花予想(3月28日発表)

地点	予想 開花日	平年 開花日	平年 差	前年 開花日	前年 差
【東北地方】					
仙台	4 4	4 12	-8	4 13	-9
青森	4 23	4 26	-3	5 1	-8
八戸	4 21	4 24	-3	4 29	-8
秋田	4 14	4 19	-5	4 21	-7
盛岡	4 17	4 23	-6	4 24	-7
宮古	4 19	4 20	-1	4 23	-4
山形	4 12	4 17	-5	4 18	-6
酒田	4 10	4 16	-6	4 16	-6
福島	4 2	4 11	-9	4 12	-10
小名浜	3 30	4 8	-9	4 3	-4

(注) 表中の平年差の値が+7以上は かなり遅い
 +3～+6は 遅い
 -2～+2は 平年並
 -3～-6は 早い
 -7以下は かなり早い

2007年のさくらの開花予想の等期日線図(3月28日発表)

